

【論文（事例研究）】

日本女子プロ野球リーグ戦の観戦者に関する実態調査

— アクティブ・ラーニングとしての地域スポーツ発展プロジェクトの取り組みから —

A Study about Research Situation of Spectators of a League Game in Japanese Women's Professional Baseball

Project-Based Learning : An Industrial-Academic-Government Cooperation Project

山内 章裕

Akihiro YAMAUCHI

1. 研究の背景

日本における女子プロ野球は、1950（昭和 35）年に「日本女子野球連盟」が結成され、「レットソックス」（千葉）、「ブルーバード」「ホーマー」「パールズ」（東京）の 4 チームにより公式リーグ戦が行われていたが、後援企業の資金問題や対戦相手チーム不足などから 2 年で解散となった。その後、2009（平成 21）年に株式会社日本女子プロ野球機構（GPBL）が設立され、2010（平成 22）年より関西の 2 チームによるリーグ公式戦が始まった。この機構創設にあたっては「女子硬式野球チームが少ない」「男子公式野球部に入部しても、競技の継続はできるが公式戦には出られない」といった、女子が野球を続けることの困難さや、ソフトボールなど他競技に転向せざるをえない現状をふまえ、女子が野球に専念できる新たな環境を提供するとともに、女子硬式野球の競技レベルの向上を目指すことを設立理念としている（戸高,2010、高橋ら,2015）。2014（平成 26）年には、新しく一般社団法人日本女子プロ野球機構となり、純粋に野球を愛し、競技を続けていきたいという女子野球選手に対し、夢を持ち続けられる場を提供することで、野球を通じて、①応援して下さる全ての方を笑顔にする、②地域との交流を深め、地域の方々の希望になり、③豊かな心を育み、真心を持った人間になる、ことを理念として、地域密着での活動を視野にチーム名を変更（京都フローラ・埼玉アストライア・兵庫ディオオーネ・東北レイア）するなど、地域密着をテーマにより愛され応援されるリーグ・球団の運営に取り組んでいる。

株式会社日本女子プロ野球機構（GPBL）創設からの 5 年間を見ればチーム数や開催会場、そしてリーグ戦の試合数を増やすなど主に観戦機会の充実が図られており、初年（2010（平成 22）年）の観客動員数は 61,424 名、翌年

91,973 名と増加したが、2012（平成 24）31,792 名と翌年 35,012 名と減少した。2014（平成 26）年に新しい機構となり地区別のヴィクトリアシリーズなど地域密着の運営に取り組んでからの観客動員数は 45,316 人と増加傾向にある。そして本機構は、「地域密着」をスローガンに各球団の本拠地にあるスポーツ団体、行政や大学との連携を図り新たな地域活動に取り組んでいる。2016（平成 28）年には埼玉県を本拠地とする埼玉アストライアは川口市、兵庫県を本拠地とする兵庫ディオオーネは淡路市とホームタウン協定を締結しスポーツを通じて地域の活性化並びに地域に根差した球団づくりを進めている。京都を本拠地とする京都フローラでは向井市とスポーツを通じたまちづくりに関する相互協定を結び、選手とコーチが小中学生の指導や市民の健康づくりに取り組むことが決まった。京都フローラは、同じ本拠地のサッカー J2 京都サンガ FC とプロバスケットボール TK1 リーグ・京都ハンナリーズなどとの共同イベントを進めており、周辺地域の大学とは大学コンソーシアム京都のプロジェクト型インターシッップの受け入れ企業・団体として学生の教育・研究活動に貢献している。

近年、各種プロスポーツ団体は地域との連携を重視したファン獲得活動を進めており、このような連携を通じて市場経済や行政でも実現できない諸課題に対して、球団や行政、そして大学が三位一体となって取り組む（場を創造する）ことは、ある人の利益が他人の利益と関係し、最終的に社会全体の利益につながっていく社会的好循環をつくりだすものであり、スポーツが社会にもたらす多様な可能性（感動、まちづくり、教育、観光等）を広げる有効な手段となり（山内ら,2012）、大きな意義があると言える。

本研究における地域スポーツ発展プロジェクトは、産学

協働のプロジェクト型アクティブ・ラーニングと位置付けることができ、このような地域スポーツ発展への支援には、直接的な活動（スポーツ指導等）と間接的な活動（事業企画運営等）がある。大学教育については 2012（平成 24）年の中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」の中で、学外との団体や共同体と共に活動しながら学修するアクティブ・ラーニングが大学で取り込まれるようになり、新たな未来を築くための大学教育の質的転換として求められている。本プロジェクトは 2012（平成 24）年にはじめて地元自治体球場（球団本拠地以外）で開催されたプロ野球二軍公式戦から学生の教育活動ならびに地域貢献活動の一環として、スタジアムオペレーションボランティアスタッフとして来場者、球団が喜んでいただけるよう公式戦のサポートを行ない実態把握をすると共に、学生が来場者に対して個別面接方式で社会調査（意識調査）を実施し、そのデータ分析並びに提案を含めたプレゼンテーションを行ない、来年度以降の来場者数アップに向けた戦略立案や新たなスポーツ推進策の提案を行なってきた。これらの取り組みは球団関係者や地元自治体、来場者さらには報道各社（朝日・読売・毎日・日経などに記事掲載）からも高く評価されており、地域スポーツの発展に向けた学生の役割についてスポーツ関係団体や地元自治体からの期待がますます大きくなっている（戸田ら,2013、オリックス,2013、堤,2012、長野,2013、岡田,2013、金子,2014）。

2. 研究の目的

本研究は、大阪大谷大学地域スポーツ発展プロジェクトとして日本女子プロ野球リーグ戦ヴィクトリアシリーズ前期で優勝した京都を本拠地とする京都フローラのホーム戦における観戦者を対象に実施された来場者調査から、基本的属性などの基礎的統計データを基に観戦者の特性を明らかにすることを目的とする。

3. 研究の方法

3.1 観察調査

地域スポーツ発展プロジェクト（プロジェクト型アクティブ・ラーニング）の一環として、2015（平成 27）年 6 月 6 日・7 日、伏見桃山球場で行われたヴィクトリアシリーズ（前期第 11・12 戦）、京都フローラ対埼玉アストライア戦、並びに 2015（平成 27）年 9 月 14 日、わかさスタジアム京都で行われたヴィクトリアシリーズ（後期第 20 戦）、京都フローラ対兵庫ディオーネ戦において、学生（調査員）がスタジアムオペレーションボランティアスタッフとして来場者、球団が喜んでいただけるよう公式戦のサポート

を行ない、公式戦の実態把握をするとともに、ゲームの進行、プレイスタイル、観客者の応援行動などを写真撮影や動画撮影により記録した。

3.2 質問紙の設計

質問紙の設計においては、球団の職員から意見を収集し詳細な検討を行ない調査対象となる観戦者の独自の観点を加味し、最終的に 9 領域の総計 45 項目を抽出した。

項目の内訳は、基本的属性は、①性別③健康状態④体力年齢⑤居住地域など 6 項目に絞り、スポーツとの関わりは、①する②見る③支える④語るの 4 項目とした。女子プロ野球・試合の認知は、①最初に知りえたイベント認知媒体②知りえた認知媒体など 3 項目、女子野球球団の認知は、①応援の年数・きっかけ・魅力②好みの球団③好みの球団認知④好みの球団の球場観戦回数⑤応援選手⑥ファンクラブ入会などの 9 項目とした。また、チケットの種類は、①チケットの種類②前売りチケットの購入場所の 2 項目、男子プロ野球の認知は、①好みの球団②好みの球団認知③好みの球団の球場観戦回数④私鉄 4 球団ファンの動向などの 5 項目とした。そして、試合観戦状況は、①試合観戦の決定時期②同伴者状況③最初の企画者の 3 項目、西京極運動公園の認知は、①イベント最終交通手段②公園来園回数と利用施設③来園 2 回以上の方の利用目的などの 4 項目、球場観戦は、①観戦グッズ②魅力的な球場観戦③観戦球場④スタジアム・球場観戦などの 9 項目とした。質問紙設計並びに面接調査においては、学内でプレ調査トレーニングを行なった。プレ調査トレーニングでは、各調査班でスタッフ同士による本番を見立てたアンケート調査を行なった。

3.3 質問紙調査

2015（平成 27）年 9 月 13 日、わかさスタジアム京都で行われたヴィクトリアシリーズ（後期第 19 戦）、京都フローラ対兵庫ディオーネ戦の観戦者（15 歳以上）を対象に、所定の質問紙による面接法で、内野スタンド（2 か所）、両外野スタンド（各 2 か所）に調査員（36 名）を配置し、入場門開場後（11 時 30 分）から 5 回開始前（14 時 30 分）までに実施した。観客動員数 1,038 人から 290 部回収し、有効回答数は 238 部であった。分析は、サンプル全体の特性を明らかにするために全調査項目について単純集計を行なうとともに、観戦者の年齢構成、ファン応援歴、同伴者について「なでしこリーグスタジアム観戦者調査 2013 サマリーレポート」（日本女子サッカーリーグ）「Jリーグスタジアム観戦者調査 2013 サマリーレポート」（日本サッカーリーグ）との比較からクロス集計を行なった。分析

における統計解析パッケージは IBM SPSS Statistics 22.0 を使用した。

Jリーグスタジアム観戦者調査 2013 サマリーレポートの調査概要は、40 クラブのホームゲーム来場者、11 歳以上の男女個人、17,854 名とし、17,286 票の有効回答（有効回収率：96.8%）で、調査の期間は 2013（平成 25）年 4 月 21 日から 10 月 27 日であった（公益社団法人日本プロサッカーリーグ,2013）。なでしこリーグスタジアム観戦者調査 2013 サマリーレポートの調査概要は、10 クラブのホームゲーム来場者、1,720 名とし、1,586 票の有効回答（有効回収率：92.2%）で、調査の期間は 2013（平成 25）年 4 月 7 日から 5 月 12 日であった（一般社団法人日本女子サッカーリーグ,2013）。

4. 調査結果

4.1 観戦者の特性

資料 1 は、調査票とその単純集計結果を示している。

観戦者の基本的特性は、男女比では約 7 対 3 であり、平均年齢は 46.11±15 歳で 40～49 歳が 31.5%で多くを占めていた。居住地域は、京都市在住が 47.1%で割合がもっとも高く、京都府外は 40.8%であった。そして、観戦者の約 9 割が健康と回答しており、体力年齢においては実年齢 40 代 73 名のうち 19 名が体力年齢を 30 代以下、実年齢 50 代 50 名のうち 24 名が体力年齢を 40 代以下と回答した。スポーツ・運動との関わりは、3 項目（「家族や友人と一緒に話しをする」（57.1%）、「スポーツ・運動を実施する」（38.7%）、「テレビや新聞などで見たりする」（87.8%））について「週に 1 回以上」の割合が高く、スポーツ支援については「まったくしない」（66.4%）と「年に数回」（18.9%）で観戦者の 8 割を超えていた。

観戦者の女子プロ野球球団における認知については、最初に知りえたイベント認知媒体が「球団ホームページ」（27.3%）「ロコミ」（25.6%）、試合の告知（複数回答）が「球団ホームページ」（26.8%）「ポスター」（19.1%）、女子プロ野球の最初の認知が「ロコミ」（35.3%）「ポスター」（14.7%）の割合が高かった。そして、女子プロ野球の応援年数は、「0 年」（33.2%）「1 年」（19.7%）で全体の 5 割を占めていた。もっとも好きな女子プロ野球の球団は「京都フローラ」（69.3%）「兵庫ディオーネ」（29.0%）で対戦カードの球団を選好しており、球団のファンクラブ加入については、「入会に興味がない」（45.0%）の割合が高く、次に「入会している」（25.2%）であった。選好球団の魅力は「地元にある球団」（41.4%）「魅力的な選手がいる」（33.9%）が多くを占めており、その球団の今シーズン観戦回数は「5 回以上」（29.4%）「1 回」（21.4%）で、その球団のニコニコ動画で

の視聴は「0 回」（72.1%）の割合が高く、次に「5 回以上」（9.0%）であった。女子プロ野球の応援選手がいる観戦者は 53.8%を占めており、応援選手数は平均で 3.1±4.4 名であった。また、応援している選手の引退や移籍で応援や観戦を辞めたことがない（82.0%）が多くを占めていた。

観戦の仕方については、本日の観戦を「ここ数日」（50.8%）「今年の試合告知後」（16.8%）に、そして「自分自身」（57.6%）「友人」（14.7%）が、高い割合で決定しており、「ひとり」（33.6%）「家族」（29.8%）の観戦者が多くを占めており、同伴者は「1 名」（40.9%）の割合が高く、次に「2 名」（28.3%）であった。そして観戦チケットは、「当日券」（40.3%）「招待券」（40.3%）が多くを占めていた。

球場観戦については、持参するグッズとして「タオル」（17.6%）「レプリカ・ユニフォーム」（11.4%）の割合が高かった。球場観戦として、選手数や試合数よりも第一に球団数の改善を求めている。女子プロ野球観戦の重視することを男子プロ野球の結果と比較すると、女子プロ野球は「笑顔の球団」「懸命なプレー」「選手の活躍」「選手のファンサービス」「球場の設備」、男子プロ野球は「強い球団」「卓越したプレー」「選手の活躍」「選手のファンサービス」「球場の雰囲気」を高く重視しており三つの項目で違いがあった。そして、今シーズンの女子プロ野球を観戦した球場は「わかさスタジアム京都」（35.8%）「伏見桃山球場」（13.6%）の割合が高く、女子プロ野球以外のスポーツのスタジアム・球場観戦では「男子プロ野球」（26.8%）「高校野球」（19.2%）が多くを占めていた。また、女子プロ野球試合観戦と類似しているスポーツは、第一位が「男子プロ野球」、第二位が「男子プロ野球（ファーム）」、第三位が「サッカー（なでしこリーグ）」であった。

京都で活躍するプロスポーツの認知について、Jリーグ京都サンガは観戦者の 86.6%、チャレンジリーグパニーズ京都 FC は観戦者の 26.9%、BJ リーグ京都ハンナリーズは観戦者の 61.3%が知っており、それぞれ今シーズンの観戦回数が「0 回」が 5 割以上を占めていた。

男子プロ野球については、選好球団は阪神が 42.0%、巨人が 16.0%と割合が高く、その選好球団を今シーズン「0 回」の観戦者が約 5 割を占めていた。今シーズンのプロ野球二軍公式戦観戦は、82.9%が「ない」との回答であった。1980 年代の関西私鉄球団における選好球団は、「阪神タイガース」が 34.0%、「近鉄バファローズ」が 16.0%と多くを占めていた。

最後に、西京極総合運動公園の利用の仕方については、最終交通手段は「電車」が 49.2%、「自家用車」が 31.1%と多くを占めていた。そして公園の利用は「5 回以上」が 33.2%、「はじめて」が 29.0%で、2 回以上の利用での来園

の目的は、「野球」が 72.6%と割合が高く、次に「サッカー」であり、その他の施設利用では「陸上競技場」が 6.2%、「ハンナリーズアリーナ」が 5.3%と割合が低く、「なし」が 82.3%と多くを占めていた。

4.2 観戦時の同伴者数の規模と観戦行動

はじめに本調査と「なでしこリーグスタジアム観戦者調査 2013 サマリーレポート」(以下、「なでしこ」)「Jリーグスタジアム観戦者調査 2013 サマリーレポート」(以下、「Jリーグ」)との比較から観戦者の基本的特性における違いを明らかにする。

図 4.1 は、観戦者の男女比を示している。男女比は本調査では男子が 71.4%で女子が 28.6%であった。男女比の比較では、約 7 対 3 が本調査となでしこであったが、Jリーグは約 6 対 4 であった。

図 4.2、4.3 は観戦者の年齢と年齢構成を示している。本調査では、平均年齢が 46.11±15 歳、年齢構成は 10 歳代から 100 歳代までと年齢層が広く、そして 40 歳代が 31.5%と高い割合を占めていた。観戦者の年齢の比較では、本調査となでしこが平均年齢が約 46 歳であったが、Jリーグでは平均年齢が 39.5 歳と 5 歳以上若かった。年齢構成の比較では、本調査となでしこでは、「50 歳以上」が、Jリーグでは「40 歳～49 歳」が最も高い割合を占めており、39 歳以下では、Jリーグが約 5 割、本調査となでしこは約 3 割と違いがあった。

図 4.4 は観戦者の応援歴を示している。本調査の応援歴は、0 年から 6 年以上で、1 年が 19.7%と高い割合を占めていた。観戦者の応援歴の比較では、発足して Jリーグは 21 年目、なでしこは 25 年目、女子プロ野球は 6 年目と経年の違いを考慮に入れる必要があるが、本調査では「1 年目」が 52.9%と割合が高く、「5 年以上」では Jリーグが 67.2%、なでしこが 49%と割合が高かった。

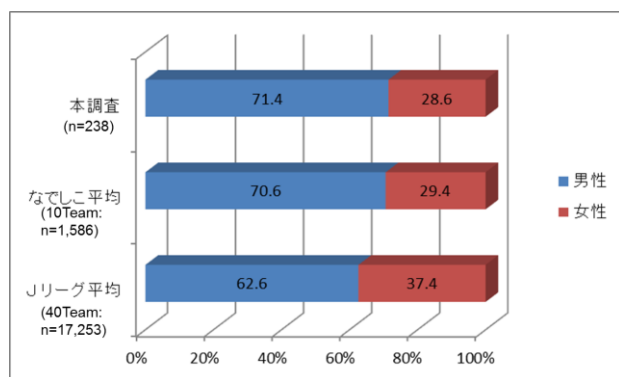


図 4.1 観戦者の性別における比較

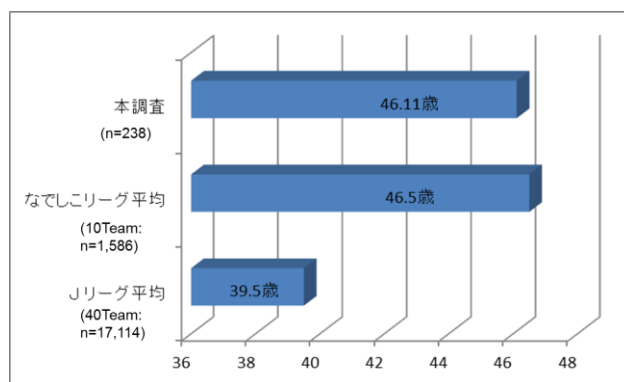


図 4.2 観戦者の平均年齢における比較

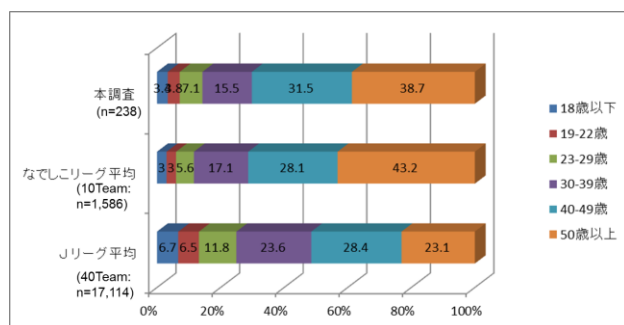


図 4.3 観戦者の年齢構成における比較

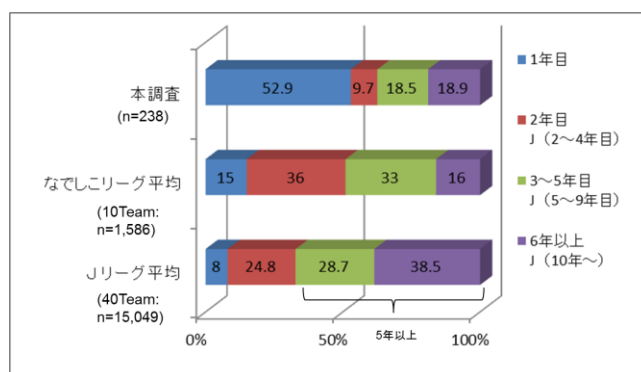


図 4.4 観戦者のファン応援歴における比較

次に、観戦者の同伴者に着目して本調査となでしこ、Jリーグとの比較から同伴者規模と観戦行動について明らかにする。

図 4.5 は観戦者の同伴者とその人数を示している。本調査では、同伴者では、「ひとり」が 33.6%と高い割合を占めていた。その他では会社の同僚、野球チームが挙げられており、オフィシャルパートナー企業であるわかさ生活の社員や出場選手の野球チームや招待された地域野球チームと観察調査により推測される。観戦者の同伴者の比較では、なでしこと Jリーグにおいて「家族」が最も高い割合を占めていた。「ひとり」では本調査が 33.6%と割合が高く、Jリーグが 16.3%と低い割合を占めていた。

図 4.6、4.7 は観戦者の同伴者規模と人数構成を示している。本調査では、一緒に来場した平均の人数は 3.23 ± 6.0 名で、2 名から 50 名であった。観戦者の同伴者規模の比較では、本調査において同伴者数に 20 名、41 名、50 名の外れ値が存在していること、なでしこ J リーグの標準偏差が明確でないことを考慮に入れる必要があるが、同伴者数は本調査と J リーグが約 3 名、なでしこが約 2 名であった。同伴者の人数構成の比較では、本調査となでしこが「単独 1 人」が約 4 割、J リーグとなでしこは「2 人」が約 4 割を占めており、J リーグでは「3 人」「4 人」「5 人以上」で約 5 割と高い割合を占めていた。

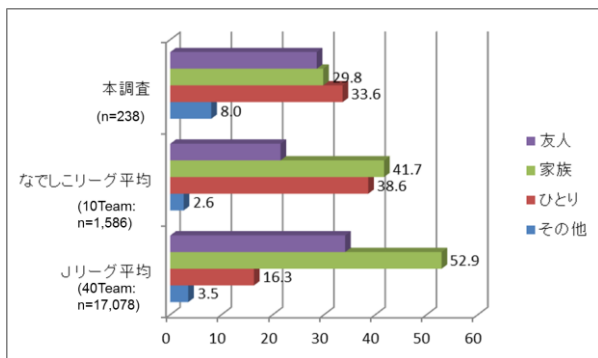


図 4.5 観戦者の同伴者の比較

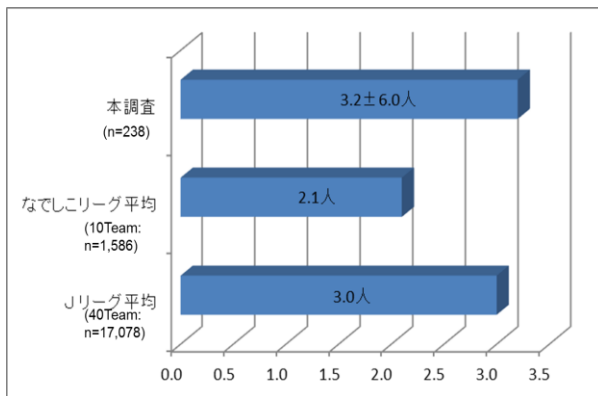


図 4.6 観戦者の同伴者規模の比較

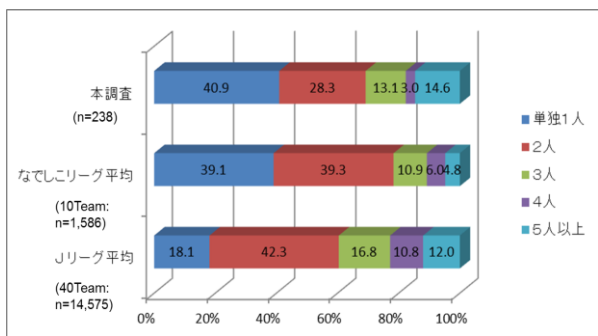


図 4.7 観戦者の同伴者人数構成の比較

最後に、本調査における観戦者の同伴者規模の関係から観戦行動を明らかにする。

図 4.8 は観戦者の同伴者規模別にみた今シーズンの観戦頻度を示している。観戦頻度が「0 から 2 回」では同伴者「2 人」と「3 人以上」で 77% と割合が高く、「3 回以上」では同伴者「1 人」が 50% と多くのを占めており、観戦頻度別に違いが明らかとなった ($\chi^2 = 15.768, d.f.=2, p < .001$)。

図 4.9 は観戦者の同伴者規模別にみた最初のイベント認知媒体を示している。「単独 1 人」では「球団ホームページ」(35%) が、「3 人以上」では「ロコミ」(27%) の割合が高くなり、最初のイベント認知媒体別に違いが明らかとなった ($\chi^2 = 62.167, d.f.=18, p < .001$)。

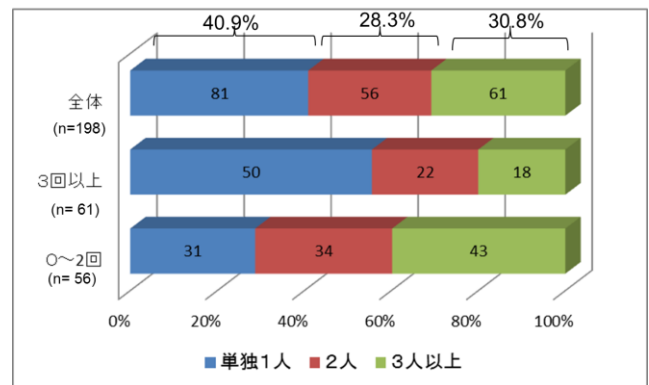


図 4.8 観戦者の同伴者規模と観戦頻度

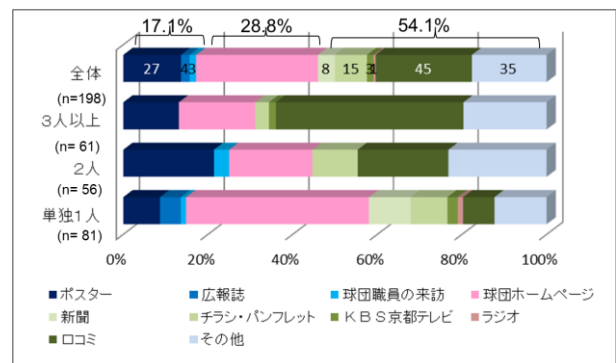


図 4.9 観戦者の同伴者規模と最初のイベント認知媒体

4. まとめ

本研究では、地域スポーツ発展プロジェクトとして観戦者を対象に実施された来場者調査から、基本的属性などの基礎的統計データを基に、二つのプロスポーツリーグのデータとの比較から、日本女子野球リーグ戦における観戦者の基本的特性の特徴、並びに同伴者規模と観戦行動との関係を明らかにした。

基本的特性の比較から、日本女子プロ野球における観戦

者は40代・50代と年齢層が高く、ファン歴が1年目で単独1人での観戦が多く、日本女子プロ野球を対象に2012年に実施された先行研究(高橋ら,2015)と同じ結果であった。したがって、Jリーグやなでしこリーグのように同伴者2名以上で観戦する家族をターゲットとすることが来場者増加への有効な手段の一つと言える。

同伴者規模と観戦行動との関係においては、同伴者規模と今シーズンの観戦回数別に違いがあるため、単独1人でシーズン3回以上観戦するファンと同伴者3名以上でシーズン0から2回観戦するファンのそれぞれ見合ったアプローチが必要であると考えられる。さらに、Jリーグ観戦者の同伴者規模に着目した先行研究(岩村,2013)の結果と同様に、同伴者数と最初のイベント認知媒体に違いがあり、単独1人の観戦者は球団ホームページ、新聞、チラシ・パンフレット、同伴者3名以上の観戦者は口コミが主たる認知媒体であった。したがって情報発信媒体においては、顕在・潜在する観戦者における地域性、選好球団の観戦回数など、それぞれの認知の違いに配慮した独自の情報発信が必要であり(山内,2015)、さらに将来の研究として、同伴者規模から観戦者を細分化したターゲットに対応した適切なアプローチ方法の立案への有効性が示唆された。

本地域スポーツ発展プロジェクトのように、スポーツ組織を対象とした産学行政協働のプロジェクト型支援事業(アクティブ・ラーニング)は、多くの大学で取り込まれるようになった。本研究において、学生による観察・質問紙調査の取り組みにより日本女子プロ野球リーグ戦における観戦者の基礎的統計データを収集することができたと言える。さらに、2016(平成28)年1月に地域スポーツ発展プロジェクトプレゼン発表会(於:阪南大学)を開催し、日本女子プロ野球機構職員と行政職員、そして地域スポーツの発展について学ぶ他大学の学生との討論を通じて、「来場者は何を求め、何を楽しみに来ているのか」、「今後、この調査を契機としてどのように地域活性化につなげていくか」について学生ならではの提案を見出すことで、プロジェクト参加学生は主体的に考え抜く力や多様な人々とともに目標に向けて協力する力も身に付き、スポーツが持つ多様な可能性について実場面から照らし検証することの重要性を学ぶことができ、本プロジェクト(プロジェクト型アクティブ・ラーニング)実施の意義は大きい。

今後、地域や学生任せの支援活動ではなく、地域や支援団体と共に活動しながら学修ができるプロジェクト型アクティブ・ラーニングが導入されるよう教育評価方法や学内組織体制を整えることが課題と言える。

<参考・引用文献>

1. 一般社団法人日本女子サッカーリーグ,2013,「なでしこリー

グスタジアム観戦者調査2013サマリーレポート」,一般社団法人日本女子サッカーリーグホームページ,(参照日2016年12月1日,http://www.nadeshikoleague.jp/news/upload_file/doc/nadeshikoleague_2013_report.pdf).

2. 岩村聡,2013,「Jリーグ観戦者の観戦行動に関する研究—観戦時の同伴者数の規模に着目して—」,筑波大学体育学紀要(36),105-119.

3. 岡田英也「オリックス盛り上げる 富田林の二軍戦 ファン拡大策球団側に提言 大阪大谷大生観客アンケート「近鉄時代の応援写真展示」「用具の無料配布」『読売新聞』2013年12月5日朝刊.

4. オリックス・バファローズ ORIX BUFFALOES OFFICIAL WEBSITE,2013,「ウエスタンで「富田林ドリームフェスティバル」開催」,大阪大谷大学の学生が地元河内地域のスポーツ振興に一役,(2013年5月13日配,<http://sp.buffaloes.co.jp/news/>).

5. 金子英介「スポーツ新潮流 オリックス2軍も元気 大学とも協力関係 客データ分析 球場ボランティア」『日本経済新聞』2014年7月21日朝刊.

6. 公益社団法人日本プロサッカーリーグ,2013,「Jリーグスタジアム観戦者調査2013サマリーレポート」,公益社団法人日本プロサッカーリーグホームページ,(参照日2016年12月1日,<http://www.jleague.jp/docs/aboutj/spectators-2013.pdf>).

7. 高橋豪仁ら,2015,「女子プロ野球のスポーツプロダクトに関する研究」『奈良教育大学紀要』第64巻,第1号(人文・社会),143-154.

8. 中央教育審議会,2012,「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～(答申)」,文部科学省ホームページ,(参照日2016年12月1日,http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm).

9. 堤浩一郎「オリックス2軍戦 来場者意識調査 旧猛牛ファン健在」『毎日新聞』2012年12月1日夕刊.

10. 戸高真弓美,2010,『日本女子プロ野球リーグ委の挑戦』出版文化社,36-61.

11. 戸田有亮,鹿野雅大,山田翔汰,水鳥寿思,伏見知何子,山内章裕,2013,「地域スポーツ発展に向けた大学生の役割について—産学行政調査プロジェクトに参加して—」『スポーツ健康学会誌』第2号,45-62.

12. 長野佑介「オリ2軍「河内のチーム」?近鉄ファン多数観戦大阪」『朝日新聞』2013年2月1日朝刊.

13. 山内章裕ら,2012,『現代スポーツビジネス』三恵社,56-57.

14. 山内章裕,2015,「私鉄沿線スポーツ文化を核とした地方球場プロ野球(二軍公式戦)開催に関する実態調査」,日本体育学会第66回大会予稿集,229.

資料 1. 調査票・単純集計結果

Q1 本日の試合があることを、最初に何でお知りになりましたか？(一つ) n=238

- ① 口コミ(誰かから聞いた) **61(25.6)** ② ポスター 31(13.0) ③ 広報誌 4(1.7)
 ④ 球団ホームページ **65(27.3)** ⑤ 新聞 8(3.4) ⑥ チラシ・パンフレット 20(8.4)
 ⑦ ニコニコ動画 0(0.0) ⑧ KBS 京都テレビ 3(1.3) ⑨ ラジオ 1(0.4)
 ⑩ 球団職員の来訪 4(1.7) ⑪ その他 **41(17.2)**

その他(職場5名、選手の親4名、選手が知り合い4名、子どものイベント3名、子どもから2名、前回の試合の告知2名、通りがかり2名、労組レク1名、LINE1名、テレビ1名、前回の試合でもらったパンフレット1名、毎回来ている1名、少年野球の付添1名、取引先1名、ファンクラブ1名、父の会社1名、インターネット1名、ファン1名、ヤクルト1名、記述なし6名)

Q2 次に以下の媒体で試合告知をご覧(お聞き)になりましたか？(複数回答) n=351, n=238

- ① 口コミ(誰かから聞いた) **63(17.9,26.5)** ② ポスター **67(19.1,28.2)** ③ 広報誌 10(2.8, 4.2)
 ④ 球団ホームページ **94(26.8,39.5)** ⑤ 新聞 13(3.7, 5.5) ⑥ チラシ・パンフレット 37(10.5, 15.5)
 ⑦ ニコニコ動画 7(2.0, 2.9) ⑧ KBS 京都テレビ 25(7.1, 10.5) ⑨ ラジオ 7(2.0, 2.9)
 ⑩ 球団職員の来訪 4(1.1, 1.7) ⑪ その他 24(6.8, 10.1)

その他(職場2名、会社の組合2名、インターネット2名、父親2名、前回の試合の告知1名、球場に来て1名、フローラのお店1名、毎回来ている1名、選手の親1名、チームのイベント1名、記述なし9名)

Q3 女子プロ野球があることを、最初に何でお知りになりましたか？(一つ) n=238

- ① 口コミ(誰かから聞いた) **84(35.3)** ② ポスター **35(14.7)** ③ 広報誌 5(2.1)
 ④ 球団ホームページ 18(7.6) ⑤ 新聞 21(8.8) ⑥ チラシ・パンフレット 9(3.8)
 ⑦ ニコニコ動画 1(0.4) ⑧ KBS 京都テレビ 24(10.1) ⑨ ラジオ 4(1.7)
 ⑩ 球団職員の来訪 2(0.8) ⑪ その他 **35(14.7)**

その他(テレビ9名、選手の親である3名、職場3名、会社の組合2名、高校女子硬式野球1名、選手の広報活動1名、少年野球のスタメンキッズ1名、選手が知り合い1名、娘が野球をしていて1名、父親1名、わかさ生活のサブリ1名、インターネット1名、男子プロ野球パ・リーグの公式戦で1名、バス停の広告1名、記述なし9名)

Q4 女子プロ野球の応援年数について n=238

- ① 0年 **79(33.2)** ② 1年 **47(19.7)** ③ 2年 23(9.7) ④ 3年 19(8.0)
 ⑤ 4年 11(4.6) ⑥ 5年 14(5.9) ⑦ 6年以上 **45(18.9)**

Q5 女子プロ野球を応援するようになったきっかけについて(一つ) n=238

- ① 選手の家族/親戚/友人/知人だから 38(16.0) ② 家族/親戚がファンだった 15(6.3)
 ③ 友人・知人がファンだった 19(8.0) ④ 地元にある球団だったから **54(22.7)**
 ⑤ 魅力的な球団があったから 2(0.8) ⑥ 魅力的な選手がいたから 18(7.6)
 ⑦ 女子スポーツに魅力を感じたから **48(20.2)** ⑧ 監督に魅力を感じたから 3(1.3)
 ⑨ 球場での応援に魅力を感じたから 10(4.2) ⑩ その他 **31(13.3)**

その他(野球が好きだから3名、応援していない3名、これから応援するかも2名、会社2名、労組1名、野球が面白いから1名、野球ファン1名、初観戦1名、付き添い1名、球場に来たとき1名、珍しいから1名、女子の人気について1名、興味があったから1名、自分がしていたから1名、子どもの野球関係で1名、球場が近いから1名、家族が野球ファン1名、ポスター1名、記述なし7名)

Q6 もっともお好きな女子プロ野球の球団はどちらですか？(一つ) n=238

- ① 京都フローラ **165(69.3)** ② 埼玉アストライア 6(2.5) ③ 兵庫ディオオーネ **29(12.2)**
 ④ 東北レイア 1(0.4) ⑤ ない→Q8・9へ **37(15.5)**

Q7 その球団の魅力についてお伺いします。(複数回答) n=280, n=201

- ① 地元にある球団 **116(41.4,57.5)** ② 魅力的な選手がいる **95(33.9,47.3)** ③ 監督が魅力的である 11(3.9, 5.5)
 ④ 強い球団である 17(6.1, 8.5) ⑤ 弱い球団である 4(1.4, 2.0)
 ⑥ ファンサービスが魅力的である **28(10.0,13.9)** ⑦ その他 9(3.2, 4.5)

その他(球場の雰囲気1名、勤務地1名、勝ちすぎないところ1名、先輩がいる1名、初めて1名、記述なし4名)

Q8 その球団(Q6⑤ない 女子プロ野球)の試合を今シーズン何回くらい野球場で観戦なさいましたか？

n=201 その球団の試合

- ① **0回 31(15.4)** ② **1回 43(21.4)** ③ 2回 27(13.4) ④ 3回 27(13.4)
⑤ 4回 14(7.0) ⑥ **5回以上 59(29.4)**

n=238 その球団(Q6⑤ない 女子プロ野球)の試合

- ① **0回 55(23.1)** ② **1回 51(21.4)** ③ 2回 27(7.6) ④ 3回 28(11.8)
⑤ 4回 14(5.9) ⑥ **5回以上 63(26.5)**

Q9 その球団(Q6⑤ない 女子プロ野球)の試合を何回くらいニコニコ動画で視聴なさいましたか？

n=201 その球団の試合

- ① **0回 145(72.1)** ② **1回 11(5.5)** ③ 2回 7(3.5) ④ 3回 11(5.5)
⑤ 4回 3(1.5) ⑥ **5回以上 18(9.0)** ⑦ 毎試合後 6(3.0)

n=238 その球団(Q6⑤ない 女子プロ野球)の試合

- ① **0回 177(74.4)** ② **1回 12(5.0)** ③ 2回 8(3.4) ④ 3回 11(4.6)
⑤ 4回 4(1.7) ⑥ **5回以上 20(8.4)** ⑦ 毎試合後 6(2.5)

Q10 女子プロ野球の選手で応援している選手はいますか？ n=238

- ① **はい 128(53.8)** 109 (**3.1±4.4名**) 無回答 19 ② いいえ 67(28.2) ③ わからない 43(18.1)

n=128 応援している選手数

1名 38(31.4)、2名 26(21.5)、3名 22(18.2)、4名 3(2.5)、5名 5(4.1)、6名 3(2.5)、7名 1(0.1)、10名 6(5.0)、17名 3(2.5)、20名 1(0.1)、30名 1(0.1)、無回答 19(15.7)

Q11 Q10の質問で①の人のみ、応援している・していた選手の引退や移籍によりその球団の応援や観戦を辞めたことがありますか？ n=128

- ① 辞めたことがある 12(9.4) ② 応援している選手が引退・移籍したことがない 11(8.6)
③ **辞めたことはない 105(82.0)**

Q12 球団のファンクラブに入会していますか？ n=238

- ① **毎年入会している 33(13.9)** ② **入会している 60(25.2)** ③ 入会したいがしていない 30(12.6)
④ 以前入会したが退会した 8(3.4) ⑤ **入会に興味がない 107(45.0)**

Q13 本日の試合観戦をいつ決めたか？ n=238

- ① 昨年の試合終了後 4(1.7) ② **今年の試合告知後 40(16.8)** ③ チケット販売開始後 11(4.6)
④ 前期リーグ終了後 19(8.0) ⑤ **ここ数日 121(50.8)** ⑥ **当日 23(9.7)**
⑦ その他 20(8.4)

Q14 本日の試合をどなたと観戦していますか？ n=238

- ① **ひとり 80(33.6)** ② 家族 71(29.8) ③ 友人 68(28.6) ④ その他 19(8.0)
その他(野球チーム6名、先生1名、会社の同僚6名、家族・友人2名、恋人1名)

一緒に来た人数(本人を含めて **3.23±6.0** 人) n=198、無回答 n=40

1名 81(40.9)、2名 56(28.3)、3名 26(13.1)、4名 6(3.0)、5名 9(4.5)、6名 1(0.5)、7名 4(2.0)、8名 6(3.0)、9名 1(0.5)、10名 1(0.5)、12名 1(0.5)、13名 2(1.0)、20名 1(0.5)、41名 1(0.5)、50名 2(1.0)

Q15 本日の試合観戦を最初に企画した人(観戦決定者)はどなたですか？ n=238

- ① **自分自身(お一人で来場の場合も)137(57.6)** ② 配偶者 29(12.2) ③ お子様 15(6.3) ④ 友人 35(14.7)
⑤ その他 22(9.2)
その他(会社8名、野球チーム(監督・コーチなど)4名、親3名)

Q16 本日のチケットは、以下のどれに当てはまりますか？ n=238

- ① **当日券 96(40.3)** ② 前売り券 30(12.6) ③ **招待券 96(40.3)** ④ その他 16(6.7)

Q17 上の質問で②の人のみ、前売り券はどちらでお求めになりましたか？ n=30

- ① 球団WEBチケットぴあ 5(16.7) ② 街の応援店舗 5(16.7) ③ その他 20(66.7)
その他(会社の組合4名、会社3名、球団1名、年間パス1名、以前の試合1名、お店1名、無回答9名)

Q18 試合観戦時に、主に持参するグッズは何ですか？(複数回答) n=324, n=238

- ① **レプリカ・ユニフォーム 37(11.4,15.5)** ② Tシャツ 18(5.6, 7.6) ③ **タオル 57(17.6,23.9)**
 ④ **メガホン 21(6.5,8.8)** ⑤ カンフーバット 8(2.5, 3.4) ⑥ フラッグ 2(0.1, 0.8)
 ⑦ リストバンド 13(4.0, 5.5) ⑧ チケットホルダー 5(1.5, 2.1) ⑨ ピンバッジ 10(3.1, 4.2)
 ⑩ その他 17(5.2, 7.1)
 その他(帽子8名、アルコール1名、本1名、スコアブック1名、本1名、プラカード1名、無記入5名)
 ⑪ 特になし 136(50.0, 57.1)

Q19 魅力的な球場観戦となるにはどちらを改善するとよいと思いますか？ n=238

- ① **(169(71.0) 球団数** ・ 選手数 69(29.0)) ② **(156(65.5)試合数** ・ ファンサービス数 82(34.5))
 ③ **(146(61.3) 球団数** ・ 試合数 92(38.7)) ④ **(144(60.5)球団数** ・ ファンサービス数 94(39.5))
 ⑤ (84(35.3) 試合数 ・ **選手数 154(64.7)**) ⑥ **(144(60.5)選手数** ・ ファンサービス数 94(39.5))

Q20 女子プロ野球の観戦ではどちらをどれだけ重視しますか？ n=238

	非常に重要	まったく重要でない	非常に重要	
(161(67.6) 強い球団	5 - - 4 - - 3 - - 2 - - 1 - - 2 - - 3 - - 4 - - 5	笑顔の球団 (77(32.4))		
	55	43	50	5 8・2 2 17 22 34
		(3.81)	(4.09)	
(201(84.5) 懸命なプレー	5 - - 4 - - 3 - - 2 - - 1 - - 2 - - 3 - - 4 - - 5	卓越したプレー (37(15.5))		
	123	40	27	6 5・0 1 8 11 17
		(4.34)	(4.19)	
(152(63.9) 選手の成長	5 - - 4 - - 3 - - 2 - - 1 - - 2 - - 3 - - 4 - - 5	選手の活躍 (86(36.1))		
	76	37	31	2 6・0 0 19 29 38
		(4.15)	(4.22)	
(160(67.2) 球団のファンサービス	5 - - 4 - - 3 - - 2 - - 1 - - 2 - - 3 - - 4 - - 5	選手のファンサービス (78(32.8))		
	66	38	41	6 9・2 2 18 23 33
		(3.91)	(4.06)	
(177(74.4) 球場の雰囲気	5 - - 4 - - 3 - - 2 - - 1 - - 2 - - 3 - - 4 - - 5	球場の設備 (61(25.6))		
	76	57	38	2 3・0 2 12 16 31
		(4.14)	(4.25)	

Q21 今シーズンに女子プロ野球を観戦された球場は？(複数回答) n=558, n=238

- ① **わかさスタジアム京都 200(35.8,84.0)** ② **伏見桃山球場 76(13.6,31.3)** ③ **淡路佐野第一球場 52(9.3,21.8)**
 ④ 赤石トーカロ球場 21(3.8, 8.8) ⑤ 洲本市民球場 35(6.3, 14.7) ⑥ ほっともっとF神戸 37(6.6, 15.5)
 ⑦ 姫路球場 18(3.2, 7.6) ⑧ 県営大宮球場 10(1.8, 4.2) ⑨ 上尾市民球場 4(0.7, 1.7)
 ⑩ 所沢航空公園野球場 5(0.9, 2.1) ⑪ 市営浦和球場 10(1.8, 4.2) ⑫ 川口市営球場 9(1.6, 3.8)
 ⑬ 春日スタジアム 18(3.2, 7.6) ⑭ 明治神宮野球場 9(1.6, 3.8) ⑮ 名取市民球場 6(1.1, 2.5)
 ⑯ 越谷市民球場 6(1.1, 2.5) ⑰ 石巻市民球場 5(0.9, 2.1) ⑱ 仙台市民球場 3(0.5, 1.3)
 ⑲ なし 34(6.1, 14.3)

Q22 女子プロ野球以外のスポーツをスタジアム・球場で観戦なさいますか？(複数回答) n=527, n=238

- ① **男子プロ野球 141(26.8,59.2)** ② 男子プロ野球(ファーム) 32(6.1, 13.4) ③ 都市対抗野球 31(5.9, 13.0)
 ④ **高校野球 101(19.2,42.4)** ⑤ **Jリーグ 40(7.6,16.8)** ⑥ サッカー(Jリーグ以外) 12(2.3, 5.0)
 ⑦ サッカー(なでしこリーグ) 14(2.7, 5.9) ⑧ サッカー日本代表 8(1.5, 3.4) ⑨ 駅伝・マラソン 16(3.0, 6.7)
 ⑩ 陸上競技 11(2.1, 4.6) ⑪ テニス 2(0.4, 0.8) ⑫ バレーボール 21(4.0, 8.8)
 ⑬ 卓球 4(0.8, 1.7) ⑭ ラグビー 15(2.8, 6.3) ⑮ 剣道 0(0.0, 0.0)
 ⑯ フィギアスケート 3(0.6, 1.3) ⑰ バスケットボール 13(2.5, 5.5) ⑱ バドミントン 1(0.2, 0.4)
 ⑲ その他 13(2.5, 5.5) (ソフトボール4名、社会人野球2名、女子競輪2名、ボクシング1名、プロレス1名、アメフト1名、アーチェリー1名、ポーリング1名)
 ⑳ **なし 49(9.3,20.6)**

Q23 女子プロ野球の試合観戦と類似していると思われるスポーツは何ですか？(Q22から5つイメージで)

n=238

- 1 (①男子プロ野球 106(44.5)) 2 (②男子プロ野球(ファーム) 52(21.8)) 3 (⑦サッカー(なでしこリーグ) 27(11.3))
4 (④高校野球 17(7.1)) 5 (⑩バスケットボール 8(3.4))

n=659, n=238

- ① 男子プロ野球 125(19.0,52.5) ② 男子プロ野球(ファーム) 82(12.4,34.5) ③ 都市対抗野球 49(7.4,20.6)
④ 高校野球 102(15.5,42.9) ⑤ Jリーグ 18(2.7,7.6) ⑥ サッカー(Jリーグ以外) 22(3.3,9.2)
⑦ サッカー(なでしこリーグ) 114(17.3,47.9) ⑧ サッカー日本代表 6(0.9,2.5) ⑨ 駅伝・マラソン 7(1.1,2.9)
⑩ 陸上競技 6(0.9,2.5) ⑪ テニス 13(2.0,5.5) ⑫ バレーボール 45(6.8,18.9)
⑬ 卓球 4(0.6,1.7) ⑭ ラグビー 5(0.8,2.1) ⑮ 剣道 2(0.3,0.8)
⑯ フィギアスケート 7(1.1,2.9) ⑰ バスケットボール 26(3.9,10.9) ⑱ バドミントン 9(1.4,3.8)
⑲ その他 14(2.1,5.9) ⑳ なし 3(0.5,1.3)

Q24 男子サッカー『Jリーグ:京都サンガ』を知っていますか？ また、試合を今シーズン何回くらい観戦なさいましたか？ n=238

(① 知っている 206(86.6)) ② 知らない 32(13.4))

- ① 0回 150(63.0) ② 1回 10(4.2) ③ 2回 5(2.1) ④ 3回 6(2.5) ⑤ 4回 1(0.4)
⑥ 5回以上 11(4.6) ⑦ なし 55(23.1)

Q25 女子サッカー『チャレンジリーグ:ハニーズ京都 FC』を知っていますか？ また、試合を今シーズン何回くらい観戦なさいましたか？ n=238

(① 知っている 64(26.9)) ② 知らない 174(73.1))

- ① 0回 126(52.9) ② 1回 7(2.9) ③ 2回 1(0.3) ④ 3回 0(0.0) ⑤ 4回 1(0.3)
⑥ 5回以上 0(0.0) ⑦ なし 103(43.3)

Q26 男子バスケ『BJリーグ京都ハンナリーズ』を知っていますか？ また、試合を今シーズン何回くらい観戦なさいましたか？ n=238

(① 知っている 146(61.3)) ② 知らない 92(38.7))

- ① 0回 145(60.9) ② 1回 4(1.7) ③ 2回 5(2.1) ④ 3回 0(0.0) ⑤ 4回 0(0.0)
⑥ 5回以上 4(1.7) ⑦ なし 80(33.6)

Q27 スポーツや運動について家族や友人と一緒にお話しをしますか？ n=238

- ① 週に1回以上 136(57.1) ② 2週間に1回程度 25(10.5) ③ 1か月に1回程度 33(13.9)
④ 年に数回 25(10.5) ⑤ まったくしない 19(8.0)

Q28 スポーツや運動を実施していますか？ n=238

- ① 週に1回以上 92(38.7) ② 2週間に1回程度 26(10.9) ③ 1か月に1回程度 21(8.8)
④ 年に数回 31(13.0) ⑤ まったくしない 68(28.6)

Q29 スポーツや運動をテレビや新聞などで見たりしますか？ n=238

- ① 週に1回以上 209(87.8) ② 2週間に1回程度 9(3.8) ③ 1か月に1回程度 7(2.9)
④ 年に数回 10(4.2) ⑤ まったくしない 3(1.3)

Q30 スポーツや運動への参加者支援、スポーツや運動の大会やイベント運営の支援を行なっていますか？ n=238

- ① 週に1回以上 21(8.8) ② 2週間に1回程度 2(0.8) ③ 1か月に1回程度 12(5.0)
④ 年に数回 45(18.9) ⑤ まったくしない 158(66.4)

男子プロ野球球団について

Q31 もっともお好きな男子プロ野球の球団はどちらですか？(一つ) n=238

- ① 阪神 100(42.0) ② オリックス 19(8.0) ③ 広島 15(6.3) ④ 巨人 38(16.0)
⑤ それ以外 35(14.7)

それ以外(ソフトバンク9名、ロッテ8名、中日6名、ヤクルト3名、横浜3名、日本ハム2名、楽天2名、西武1名、記載なし1名)

- ⑥ ない 31(13.0) ⇒Q33へ

Q32 その球団の試合を今シーズン何回くらい野球場で観戦なさいましたか？ n=207

- ① 0回 105(50.7) ② 1回 24(11.6) ③ 2回 23(11.1) ④ 3回 20(9.7) ⑤ 4回 4(1.9)
⑥ 5回以上 31(15.0)

Q33 男子プロ野球の観戦では、どちらを重視しますか？ n=238 (2名記載なし)

	非常に重要	まったく重要でない	非常に重要	
(219(92.0)) 強い球団	5	4	3	2
	123	52	32	2
				10・1
				0
				4
				2
				10
		(4.26)		(4.18)
(129(54.2)) 懸命なプレー	5	4	3	2
	72	28	19	2
				8・0
				2
				11
				25
				69
		(4.19)		(4.50)
(123(51.7)) 選手の成長	5	4	3	2
	58	37	20	1
				7・0
				1
				15
				31
				66
		(4.12)		(4.43)
(178(74.8)) 球団のファンサービス	5	4	3	2
	91	37	31	8
				11・0
				3
				8
				16
				31
		(4.06)		(4.29)
(182(76.5)) 球場の雰囲気	5	4	3	2
	107	41	25	2
				7・1
				1
				11
				11
				31
		(4.31)		(4.27)

Q34 今シーズンに地方開催のプロ野球二軍公式戦を観戦なさいましたか？(複数回答) n=257, n=238

- ① 佐藤薬品スタジアム(奈良県橿原市) 8(3.1,3.4) ② 花園セントラルスタジアム(東大阪市) 2(0.8,0.8)
③ 高知球場(高知市) 1(0.4,0.4) ④ 春日スタジアム(兵庫県丹波市) 3(1.2,1.3)
⑤ 富田林パファローズスタジアム(富田林市) 4(1.6,1.7) ⑥ 豊中ローズ球場(豊中市) 5(1.9,2.1)
⑦ 高槻萩谷総合公園野球場(高槻市) 2(0.8,0.8) ⑧ 神戸サブ球場 11(4.3,4.6)
⑨ その他 8(3.1,3.4)
その他(鳴尾浜球場4名、甲子園球場1名、姫路球場1名、ナゴヤ球場1名、佐野球場1名)
⑩ ない 213(82.9,89.5)

Q35 1980年代まで、関西には私鉄(阪神・阪急・近鉄・南海)を親会社とする球団が4つありましたが、当時もっともお好きだった球団はどれですか？(一つお選びください) n=238

- ① 阪神タイガース 81(34.0) ② 阪急ブレーブス 33(13.9) ③ 近鉄パファローズ 38(16.0)
④ 南海ホークス 28(11.8) ⑤ ない 27(11.3) ⑥ 知らない 31(13.0)

西京極総合運動公園について質問します。

Q36 本日、お越しいただいた最終交通手段は何ですか？ n=238

- ① 自家用車 74(31.1) ② 市営バス 14(5.9) ③ 電車 117(49.2) ④ タクシー 0(0.0) ⑤ 自転車 23(9.7)
⑥ その他 10(4.2)
その他(徒歩4名、単車・バイク2名、バス1名、新幹線1名、未記入2名)

Q37 今年になって、西京極総合運動公園に何回くらい来園されましたか？ n=238

- ① はじめて 69(29.0) ② 2回 43(18.1) ③ 3回 28(11.8) ④ 4回 19(8.0)
⑤ 5回以上 79(33.2)
(30回2名、20回1名、18回1名、16回1名、10回2名、8回1名、7回5名、6回1名、5回7名、数えきれないくらい1名、未記入57名)

Q38 2回以上の方にお伺いします。来園の目的は何ですか？(複数回答) n=208, n=169

- ① 野球 151(72.6,89.3) ② サッカー 27(13.0,16.0) ③ 陸上競技 13(6.3,7.7) ④ プール 5(2.4,3.0)
⑤ スケート 0(0.0,0.0) ⑥ アーチェリー 0(0.0,0.0) ⑦ その他 12(5.8,7.1)
その他(バスケット4名、BJリーグ1名、散歩1名、仕事の近くだから1名、子供の行事1名、駅伝1名、チアの付添1名、未記入2名)

Q39 他の運動施設をご利用になられますか？(複数回答) n=243

- ① 陸上競技場 15(6.2) ② 京都アクアリーナ 12(4.9) ③ 市民スポーツ会館 2(0.8)
④ ハンナリーズアリーナ 13(5.3) ⑤ 補助競技場 0(0.0) ⑥ その他 1(0.4) (甲子園球場) ⑦ なし 200(82.3)

個人の特性について

Q40 あなたは、このところ健康だと思いますか？ n=238

- ① 健康である 118(49.6) ② どちらかと言えば健康である 95(39.9) ③ どちらかと言えば健康でない 16(6.7)
④ 健康でない 2(0.8) ⑤ わからない 7(2.9)

Q41 ご自分の体力についてどのように感じていますか？ n=238

- ① 体力に自信がある 44(18.5) ② どちらかと言えば自信がある 103(43.3)
③ どちらかと言えば自信がない 57(23.9) ④ 体力に不安がある 24(10.1) ⑤ わからない 10(4.2)

Q42 ご自分の体力年齢はどれくらいだと思いますか(イメージで)？ n=238

- ① 10代 8(3.4) ② 20代 31(13.0) ③ 30代 50(21.0) ④ 40代 69(29.0) ⑤ 50代 46(19.3)
⑥ 60代 23(9.7) ⑦ 70代 10(4.2) ⑧ 80代 1(0.4)

Q43 お住まいはどちらですか？ n=238

郵便番号(7桁): _____

- ① 京都市 112(47.1)

(区)

西京 17(15.2)、伏見 19(17.0)、山科 5(4.5)、東山 0(0.0)、南 5(4.5)、下京 2(1.8)、
中京 17(15.2)、上京 8(7.1)、左京 12(10.7)、右京 19(17.0)、北 6(5.4)、無回答 2(1.8)

- ② 宇治市 5(2.1) ③ 八幡市 2(0.8) ④ 大山崎市 0(0.0) ⑤ 長岡京市 8(3.4) ⑥ 亀岡市 3(1.3)
⑦ 京丹波町 0(0.0) ⑧ 南丹市 0(0.0) ⑨ 福知山市 2(0.8)

- ⑩ 京都府内 9(3.8)

(城陽市 5名、舞鶴市 1名、木津川市 1名、その他 2名)

- ⑪ 京都府外 97(40.8)

(大阪府 42名、兵庫県 21名、滋賀県 15名、奈良県 7名、埼玉県 3名、東京都 3名、神奈川県 2名、愛知県 1名、
静岡県 1名、北海道 1名、和歌山県 1名)

Q44 あなたのお生まれは、何年何月ですか？ n=238

(1 大正 2 昭和 3 平成) _____ 年 _____ 月

平均年齢 46.11±15 歳

10代 12(5.0)、20代 22(9.2)、30代 37(15.5)、40代 75(31.5)、50代 50(21.0)、60代 29(12.2)、70代 8(3.4)、
80代 4(1.7)、90代 0(0.0)、100代 1(0.4)

Q45 性別をお教えてください(目視でも可) n=238

- ① 男 170(71.4) ② 女 68(28.6)